

## 1. 研究背景と目的

2020年春、世界的に新型コロナウイルス感染が拡大し、中国国内外問わず人々の移動が規制されたが、それ以前はさまざまな国・地域においてその地を訪れる国内・海外からの観光客が増加していた。2019年1月、国連世界観光機関（以下、UNWTOと言う）は2018年に世界全体の国際観光客数が前年より約7,400万人増加し14億人に達したと報告している。

国内・海外からの観光客増加の原因と考えられることがいくつかある。まず、諸国の経済開発が進んだこと、そして、移動費用の低廉化、ホテル・交通手段のインターネット予約が可能になったこと、海外旅行の場合ビザ取得の緩和など旅行手続きがスムーズになったことなどが挙げられる。

観光客が急増した結果、経済や文化の交流が発展した。しかし、一方で、観光地の地域住民からは、過度な混雑、騒音、ゴミ問題など観光客に対する否定的な意見や、一部の観光都市では抗議の声が発生した。

2015年、筆者が三亜市を旅行した際、観光スポットの混雑、交通渋滞、ゴミのポイ捨てといった問題を目の当たりにした。2018年に三亜市を来訪した観光客数は過去最多2,000万人を超えた。新聞記事は、三亜市において、観光スポットの混雑、交通渋滞、ビーチのゴミなどの問題が顕在化したことを報道している。三亜市政府はインフラ整備の強化、交通システムの管制などさまざまな対策を講じているが、まだ解決されていない問題もある。

現段階において、中国国内におけるオーバーツーリズムの研究は始まったばかりである。「オーバーツーリズム」を論証する研究はあるが、観光地のオーバーツーリズムの実態および対策について解説する研究は少ないと言える。

本論文は、以上の背景を踏まえ、次の三項目を研究の目的とする。

- ① 三亜市におけるオーバーツーリズムの現状を把握する。
- ② 三亜市のオーバーツーリズムの問題に対して、三亜市が行っている対策を調査し、残された課題を明らかにする。
- ③ 三亜市のオーバーツーリズムを緩和するために、先進事例から応用できる方策を提案することを目指す。

## 2. 研究の方法

本論文では、まず、三亜市をめぐるオーバーツーリズムの現状を把握するため、問巻星ネットサイト<sup>1</sup>のサービスを利用して、三亜市市民に、三亜市における観光がもたらす影響に対する認知度のアンケート調査を実施した。そして、現在三亜市で生じているオーバーツーリズム現象の原因と三亜市が行っている解決策を明らかにするため、海南省政府、三亜市政府職員、三亜市観光スポットの経営者にヒアリング調査を行った。また文献調査、鎌倉市まちづくり計画部都市計画課職員にメールを通じてヒアリング調査、京都への現地調査から検討した上で、三亜市に残されたオーバーツーリズム現象を緩和するために、有効と考えられる方策を提案した。

## 3. 結果

三亜市における以下の問題点を生じた。

- (1) 交通渋滞に関わる課題
- (2) 生態系の破壊に関わる課題

---

<sup>1</sup> 中国オンライン調査ツール

- (3) 観光スポットの混雑と観光客のマナーに関わる課題
- (4) 三亜市政府と市民の合意形成に関わる課題
- (5) 効果がないオーバーツーリズム対策に関わる課題

#### 4. 考察

三亜市においても観光資源や社会文化を保護するために、観光客の分散や観光事業者への規制の重要性が高まってきた。また、悪影響を抑制するためには、規制と同時にインフラ設備の強化やキャパシティの拡大も欠かせない対策と言えるだろう。さらに、オーバーツーリズムが今以上に深刻化しないように、三亜市政府と市民の間に合意を形成し、様々な対策を練らなければならない。市民にとって三亜市は住みやすい街で、観光によって、市民一人一人が経済的にも文化的にも豊かになり、市民生活において観光のポジティブな影響が見られたり、感じられたりすれば、市民からの観光業に対する異論はなくなるのではないか。ただし、先進事例の対策から、三亜市に応用できない対策があった。三亜市のオーバーツーリズム問題を解消したい場合、完全に先進事例を参照することは有り得ないだろう。対策を考える際に、最も重要なのはやはり先進事例をもとに、現地の社会や文化に合わせることである。

#### 5. まとめ

海南省三亜市は、知名度の向上、観光客数の増加、観光収入の増大を中心に観光を発展させていくという方向性を示している。しかし、筆者は、三亜市の観光が継続的に発展していくためには、観光と地域市民の間に適切なバランスを取り戻す必要があると考える。三亜市観光業将来の発展方向性は観光資源を守り、持続可能な観光の発展を目指していくべきである。